

# 知的資産経営報告書2017

高田電機株式会社



# 目次

● 社長あいさつ	3	● 関係資産	24
● 経営理念	4	● 外部環境分析（事業機会とリスク）	25
● 取組方針	6	● 経営課題と戦略	26
● 事業概要	7	● 将来に向けた価値創造・ビジネスモデル	27
● 沿革	11	● 将来価値ストーリー	28
● 事業（業務）プロセス	12	● アクションプラン	29
● 人的資産	13	● 財務実績・主要な財務指標	30
● 組織・技術資産	16	● 企業概要	31
● 情報資産	17	● 支援機関	33
● 風土資産	19		
● 理念資産	20		

# 社長あいさつ



- 当社は創業以来、社会基盤を支える大切なエネルギーのひとつ「電気」を街中に張り巡らせ、建設に引き込み、皆様に電気を供給するための仕事としています。
- 一般住宅から、病院、学校などの施設や様々な企業の電気配線工事を手がけてまいりました。近年では水道、空調、通信、太陽光発電など多様で重要な社会生活から切り離せない業種にも携わり皆様に陰ながら身近な関わりを持っています。
- 創業より長年続けてこられたのも私たちの仕事に対する情熱と、確かな技術で工事の仕上がり皆様から高い評価をいただいてもものと確信しています。
- 私たちは常に、毎日の暮らしを支える大切な電気を、皆様に効率よく快適に使っていただくとともに、環境にやさしい、安全で快適な、信頼性の高い電気工事をお届けするようさらなる向上を目指しています。

# 経営理念

【社是】

堅実経営

【経営理念】

全社員の物心両面の幸福を追求すると同時に、  
地域社会の進歩発展に貢献すること



## 【社訓】

### 1 人間尊重

社員が快適で意欲をもって働けるような環境を作ります。  
常に正しい考え方を求め、感謝の心を持ち勤勉、謙虚、  
正直、素直で誠実な人間になります。

### 2 地域社会への貢献

環境保全活動、文化活動等のみならず社会的・文化的な  
価値のある 優れた品質の設備を作ります。

### 3 顧客第一

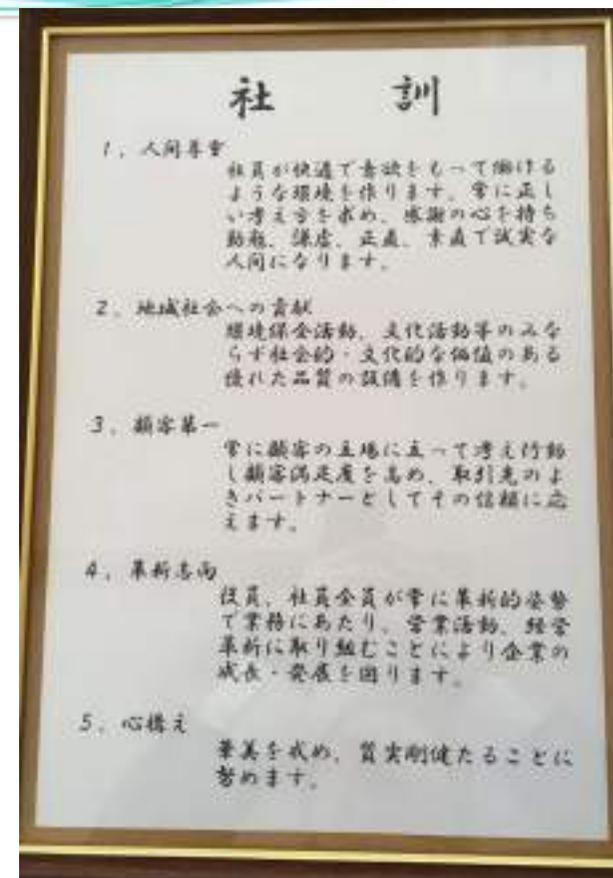
常に顧客の立場に立って考え行動し顧客満足度を高め、  
取引先のよきパートナーとしてその信頼に応えます。

### 4 革新志向

役員、社員全員が常に革新的姿勢で業務にあたり、営業活動、  
経営革新に取り組むことにより企業の成長・発展を図ります。

### 5 心構え

華美を戒め、質実剛健たることに努めます。



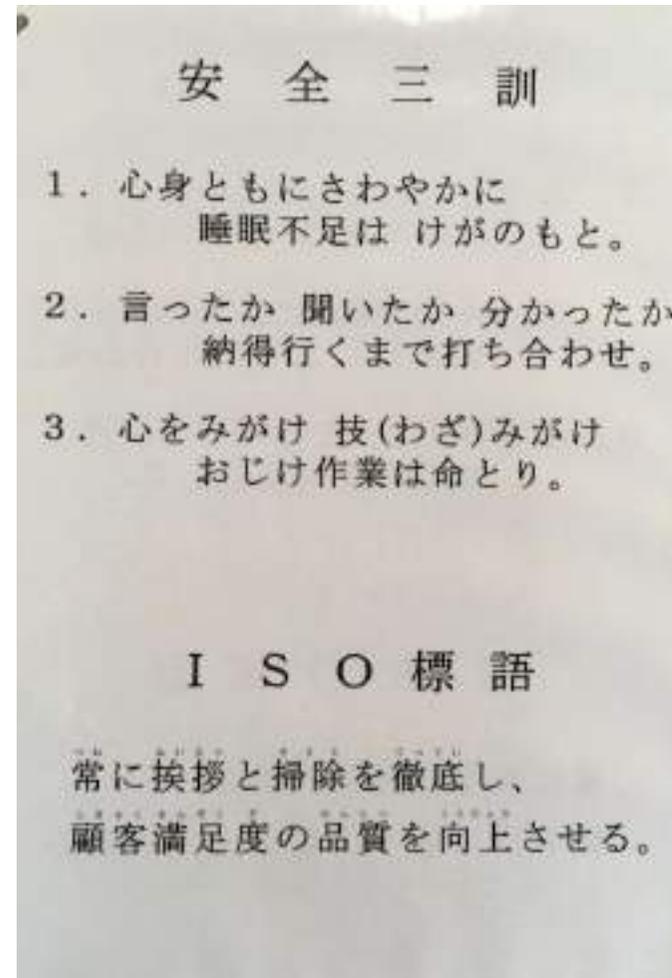
# 取組方針

## 1 安全三訓の唱和

- ①心身ともにさわやかに  
睡眠不足は けがのもと。
- ②言ったか 聞いたか 分かったか  
納得行くまで打ち合わせ。
- ③心をみがけ 技(わざ)みがけ  
おじけ作業は命とり。

## 2 ISO標語の唱和

常に挨拶と掃除を徹底し、  
顧客満足度の品質を向上させる。



# 事業概要

## ● 電気設備工事

- 電気設備工事  
(引込工事、高圧機器設置、幹線動力設備、電灯コンセント設備、照明器具取付工事)
- 通信・弱电設備工事  
(電話設備、テレビ設備、ITV設備、拡声設備、ナースコール設備、防犯設備)
- 太陽光発電設備
- 街路灯工事
- オール電化リニューアル工事



## ● 機械設備工事(管工事)

- 衛生設備工事(給排水設備、雨水設備、衛生機器取付工事)
- 空気調和設備工事(エアコン設備、換気設備)
- エコキュート取付工事



## ● 消防施設設備工事

- 自動火災報知設備工事(自動火災報知設備、非常放送設備)
- スプリンクラー設備工事



# 工事概要

## (建築工程 配管 配線)



# 電気作業内容

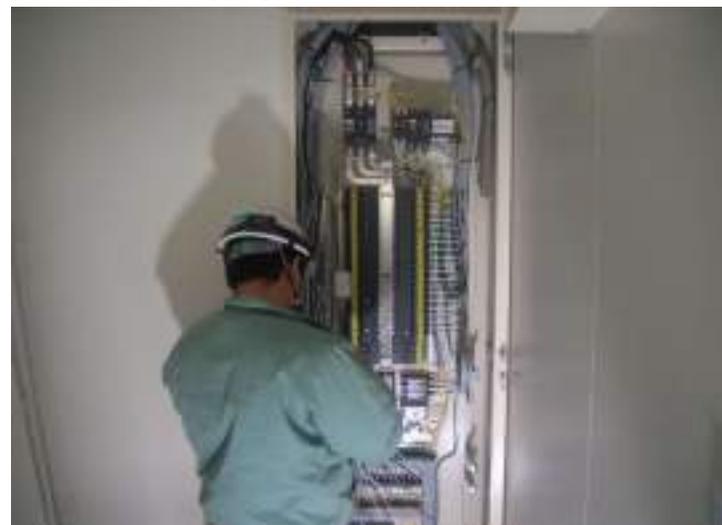


引込柱装柱



照明器具取付

盤組結線



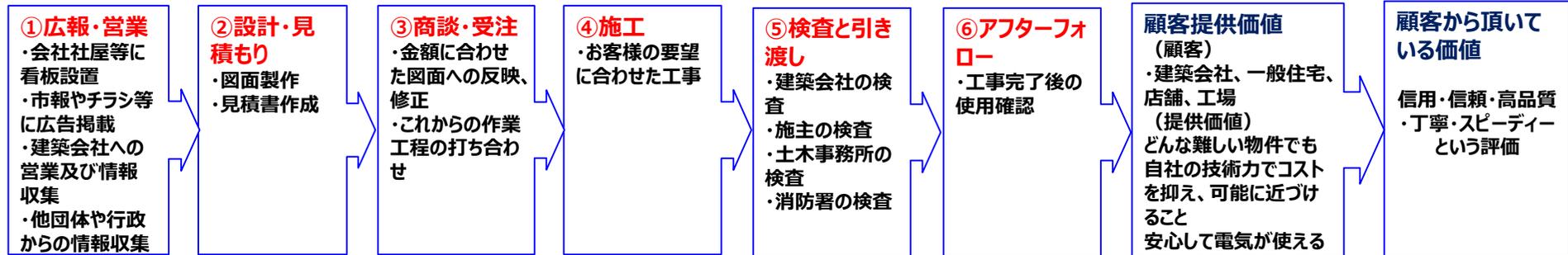
# 土木工



# 沿革

- 昭和29年 創業
- 昭和44年 佐賀県知事登録一般電気工事業
- 昭和46年 高田電機株式会社に社名変更
- 昭和48年 建設業法に基づく最初の登録及び許可（電気工事業）
- 昭和51年 資本金1,000万円に増資
- 昭和52年 社屋新築により移転
- 平成2年 資本金2,000万円に増資
- 平成9年 代表取締役を高田芳雄に変更
- 平成19年 建設業法に基づく登録及び許可（電気通信工事業）⇒廃止届を提出
- 平成22年 建設業法に基づく登録及び許可（消防施設工事業）
- 平成26年 建設業法に基づく登録及び許可（管工事、建築一式工事業）
- 平成28年 建設業法に基づく登録及び許可（土木一式工事、塗装工事、水道施設工事、解体工事業）

# 事業（業務）プロセス



業務の流れ	他社との差別化に繋がっている取組
① 広報・営業	i) 地場大手建設会社との良好な関係 ii) プライベートの関係も重視する (ゴルフ、懇親会) iii) 商工会議所の議員、ロータリークラブ、J C 等会員 iv) 施工実績 v) 役員間のコミュニケーションが良好
② 設計・見積もり	i) 下請先との関係が良好 (見積金額抑制) ii) 管理技士のチームワーク iii) 顧客への的確なアドバイス iv) 設計・見積もり期限を厳守している v) 管理技士が多い
③ 商談・受注	
④ 施工	i) 顧客の要望への的確な対応 ii) クレームが少ない iii) 要望→提案→修正のサイクルがうまく回っている iv) 管理技士、職長の指示が的確である v) 管理技士と職長の意思疎通ができています vi) トラブルが少ない
⑤ 検査と引き渡し	i) 工務会議の実施によりクレーム・問題点の洗い出し等ができています (次に利活用できる) ii) 法改正への対応力がある iii) 完成図書 (仕様書・図面・保証書) を渡す
⑥ アフターフォロー	i) 1年間保証 (無料) ii) 都度対応 iii) 取扱い説明会の実施
顧客提供価値	○お客様の要望に的確に対応する人財、技術力、知識力 ・施工できないとは言わない。 ・どんな困難な案件でも、自社の技術力でコストを抑え、施工可能な状態に近づける ・電気を安心して使える ・住みやすい、扱いやすい ・自社施工以外でも修理の相談に応じ、対応できるところは対応している
顧客から頂いている価値	○信用・信頼・高品質・丁寧、スピーディーという評価 ・顧客の提案を自社の技術力向上に生かせるように、知識を磨き、知識や経験を広報・営業、設計・見積もり等の業務プロセスで活用している

# 人的資産

## 【経営陣の人脈】

業界団体・各種団体へ所属、  
プライベートでの親交

## 【社内のコミュニケーション】

全社員の仕事面での意識統一

## 【有資格者多数】

第一種、二種電気工事士、1級、2級管理技士等の資格保有者が多い



## 【有資格者の状況】

- 第一種電気工事士(20名)
- 第二種電気工事士(17名)
- 1級電気工事施工管理技士 (14名)
- 2級電気工事施工管理技士 (8名)
- 1級管工事施工管理 (1名)
- 2級管工事施工管理 (1名)
- 1級土木施工管理 (1名)
- 1級造園施工管理 (1名)
- 2級建築士 (1名)
- 消防設備士 甲種4類 (4名)
- 建設業経理事務2級 (3名)
- その他、玉掛技能、高所作業車、  
職長・安全衛生責任者教育等資格保持者多数



社員同士の仲が良く、日頃からコミュニケーションが取れています。

困ったことがあったり、問題が起きた時はみんなで助け合い、チームワークが良くとても働きやすい会社だと思います。そういったところが、お客様からの依頼への早急な対応や、信頼へと繋がっていると思います。(設計課 福島 20代)



社員も若手が増えてきて、技能大会で優秀な成績を年々取めてくるのが技能向上にも繋がっていると思います。このような実績で発憤したベテラン、中堅社員も若手と一丸となり、日々の技術向上とコミュニケーションアップに繋がっている会社になっていると思いました。(工務課長 松本 40代)

# インターンシップ



# 組織・技術資産

## 【監理技士のチームワーク】

チームワークの良さで設計段階では大手と遜色ない完成度に仕上げる

## 【工務会議の開催】

クレーム処理、問題点把握の早急な対応、顧客の満足度高い

## 【クレーム対応のルール】

原則都度対応、スピード対応により顧客の信頼関係構築

## 【資格取得支援制度】

講習あっせん援助。資格保有者は競合他社よりも多い

## 【技術】

電気工事であればオールマイティにこなす  
工期厳守。スピーディー  
電気工事以外に水道計装、制御などを自社  
で付帯工事もできる（専務が築いてきた財産）

## 【働きやすい環境】

整理整頓、清掃  
ノルマより勤務態度を重視



**全九州技能競技大会で入賞**

# 情報資産

## 【社内コミュニケーション】

年3回（忘年会、歓迎会、暑気払い）の懇親会開催、  
社員旅行2年に一回実施

営業・設計・経営陣が1階でワンフロアに集中  
工務は2階でワンフロアに集中

} 情報の共有ができています

## 【工務会議の開催】

工務会議…各現場の工程確認、現場での事故報告

リーダー…工務部長

構成人員 25人（工務課、工務班のスタッフ）

月1回開催

情報の共有

他の現場の進捗状況の確認ができ、適切な人員配置が可能

休日出勤者の確認 休日出勤者の平均化を図る

# 社内旅行



2013.四国



2015.北海道



2017.京都、大阪

# 風土資産

## 【業歴】

63年と長い、積み上げてきた「信頼・実績」

## 【顧客第一】

担当者一人一人に社用携帯を貸与

いつでも顧客のお困りごとに対応することによる「信頼・実績」

## 【礼儀作法】

朝礼で「あいさつと掃除の徹底」

現場をきれいにすることによる「信頼・実績」、社員のモチベーション向上、丁寧確実な施工が可能、事故防止につながる

## 【習慣】

朝礼時に社員同士で肩もみ（マッサージ）

## 【風土】

安心して働ける環境づくり（産休・育休を取りやすく）

充実した福利厚生により社員を大切にしている

ベテラン社員が若手社員を育成指導する（面倒見が良い）

# 理念資産

## 【経営理念・社是・社訓】

- **経営理念**

「全社員の物心両面の幸福を追求すると同時に、地域社会の進歩発展に貢献すること」

- **社是**

「堅実経営」

- **社訓**

1. 人間尊重
2. 地域社会への貢献
3. 顧客第一
4. 革新志向
5. 心構え

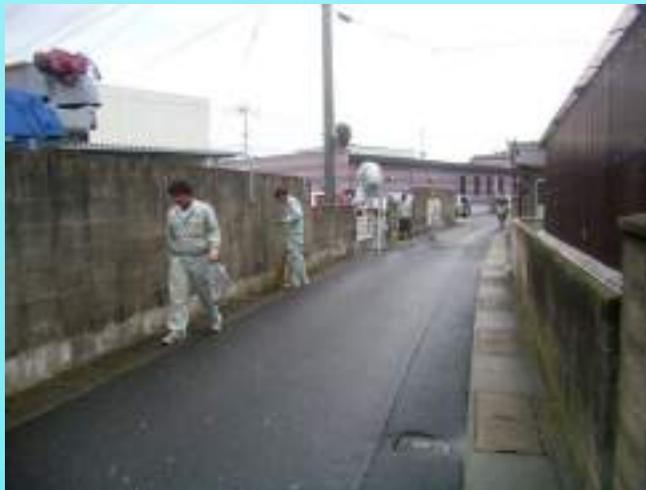
## 【地域貢献】

- ・会社まわり朝一清掃
- ・月1回会社周辺清掃活動
- ・松原清掃（年2～3回）
- ・舞鶴橋の清掃（年1回）※橋本建設の活動に共感し、共同して実施
- ・工事組合のボランティア清掃活動（年に1回）

## 会社まわり朝一清掃



## 月1回会社周辺清掃活動



## 松原清掃（年2～3回）



## 舞鶴橋の清掃（年1回）



**工事組合のボランティア  
清掃活動（年に1回）**





# 関係資産

## 【地場大手建設会社との良好な関係】

業界、各種団体に所属し、受注・情報提供が得られる  
(プライベートでの交流も重視)

## 【地域住民との良好な関係】

私的な付き合いから受注・情報提供が得られる

## 【下請業者との良好な関係】

見積金額の自由度が高い

これらの背景には当社の高い「信頼・実績」がある

# 外部環境分析（事業機会とリスク）

## 【チャンスと機会】

- ・人口減少地域でありながら一般戸建て住宅着工件数は増加している（核家族化）
- ・通信工事は現状で無資格では取扱いできないが、資格解放され次第、資格取得し、取扱い工事種別を増加できる
- ・需要が見込める県外市場への営業展開
- ・管工事の需要取り込み（管工事の有資格者を増やす）
- ・女性の技術職雇用の推進、女性が働きやすい環境整備

## 【リスクと脅威】

- ・全体工事7割が公共工事であり、将来的には受注減が予想される
- ・熟練技術者の高齢化
- ・LED、太陽光発電需要は先細り
- ・全体的な人財不足（新卒採用が難しい、オリンピック需要の影響によって人財が都心に流れる傾向がある）
- ・AI、IoTの流れ

# 経営課題と戦略

外部環境と知的資産を踏まえた今後のビジョン	①	全体工事に占める民間工事の割合を上げていく
	②	市場（営業エリア）を県外に拡大する
	③	顧客提供価値を維持するために、見えざる資産をブラッシュアップする（知的資産を失わないようにする取組）
今後のビジョンを実現するための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人脈や行政とのネットワークを活用し、公共工事が50%になっても利益率は落とさない（品質重視、品質向上）</li> <li>・アフターサービスの徹底（1年間無料保証）</li> <li>・一般戸建て住宅の取り込み（営業力強化）</li> <li>・M &amp; A、金融機関等からの情報収集</li> <li>・インターンシップの受入、Uターン雇用の人財情報収集</li> <li>・雇用対策（30代未満の人財確保）</li> <li>・市内高校からの新卒採用（2校から約2名）</li> <li>・I o Tのシステムへの対応、BCP対応</li> <li>・事業承継</li> </ul>	

# 将来に向けた価値創造・ビジネスモデル

## 【実績】

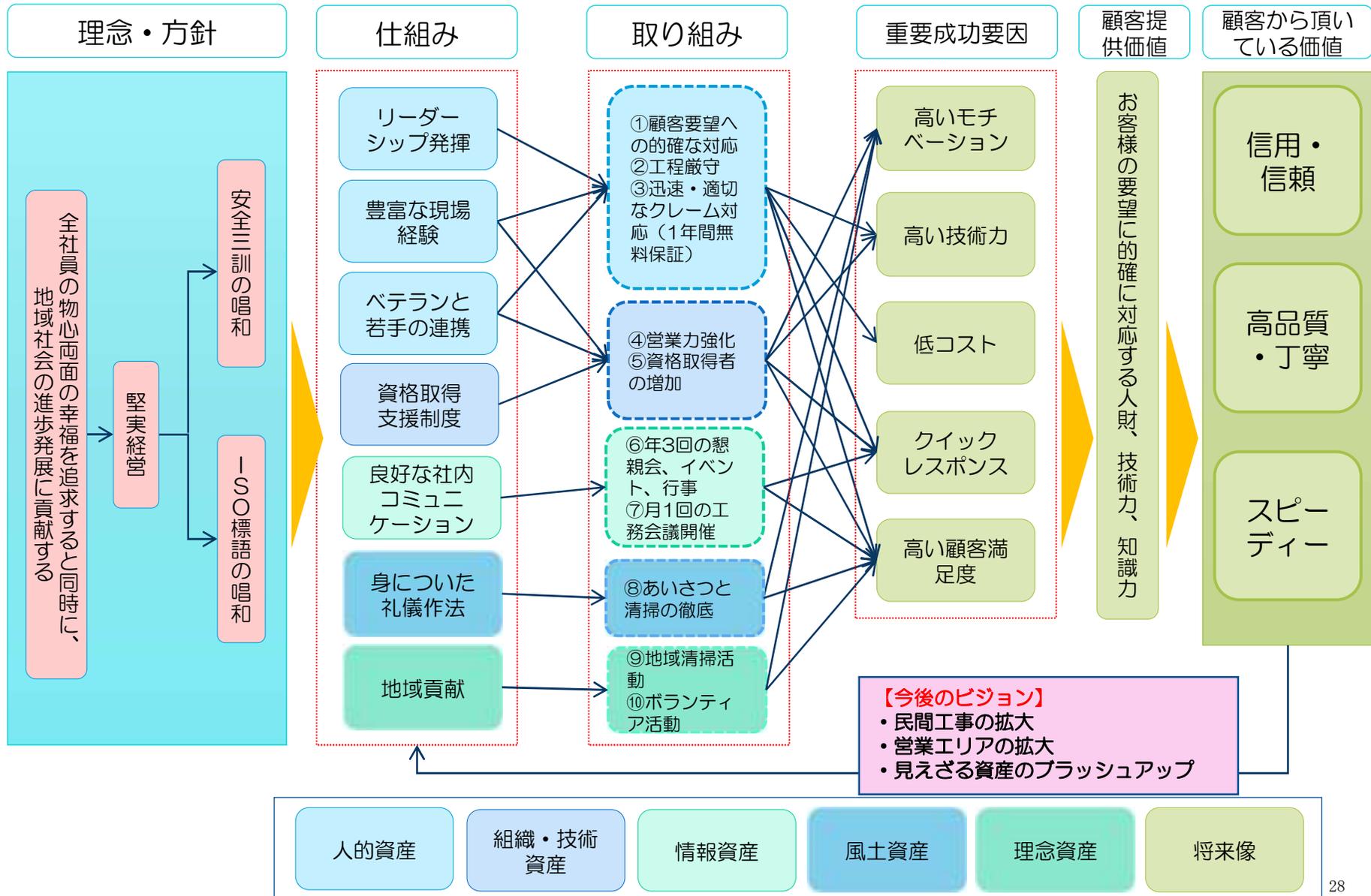
K  
G  
I  
・  
K  
P  
I

- ・売上高 5か年平均 7.4億円
- ・新規採用数(平均) 新卒 1名  
中途 1名
- ・民間工事の割合(平均) 10~30%
- ・下請企業数(平均) 5~6社
- ・県外営業エリア 2か所
- ・女性・技術職 1名

## 【将来】

- ・売上高 5か年平均 10億円
- ・新規採用数 新卒 2~4名  
中途 0名
- ・民間工事の割合(平均) 40~50%
- ・下請企業数(平均) 10社
- ・県外営業エリア 今期1か所増
- ・女性・技術職 5年後までに2名

# 将来価値ストーリー



# アクションプラン

項目	今後の新たな行動計画
①顧客要望への的確な対応 ②工程厳守 ③迅速・適切なクレーム対応 （1年間無料保証）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職長クラスの社員が若手社員のサポートにまわり、若手にできるだけ現場を持たせるようにする</li> <li>・品質向上のための工事勉強会を実施する（工務20名で構成・不定期開催）</li> </ul>
④営業力強化 ⑤資格取得者の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業エリアを県外に拡大する</li> <li>・ベテランの指導力の維持・ブラッシュアップを図る</li> <li>・管工事の有資格者を増やす</li> <li>・資格取得勉強の場を提供し、ワンランク上の仕事を指させ、社員一人一人の仕事の幅を広げる（講習費用の一部を会社が負担する）</li> <li>・インターンシップを受け入れる</li> <li>・今後も技能大会に出場し、受賞者（チーム）を表彰する</li> </ul>
⑥イベント、行事 ⑦月1回の工務会議開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内レクリエーションを実施する（ボーリング大会を年1回開催する等）</li> </ul>
⑧あいさつと清掃の徹底	
⑨地域清掃活動 ⑩ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校関係者や父兄会向けにCSR活動を行う</li> <li>・学校でキャリア教育を行う</li> </ul>

人的資産

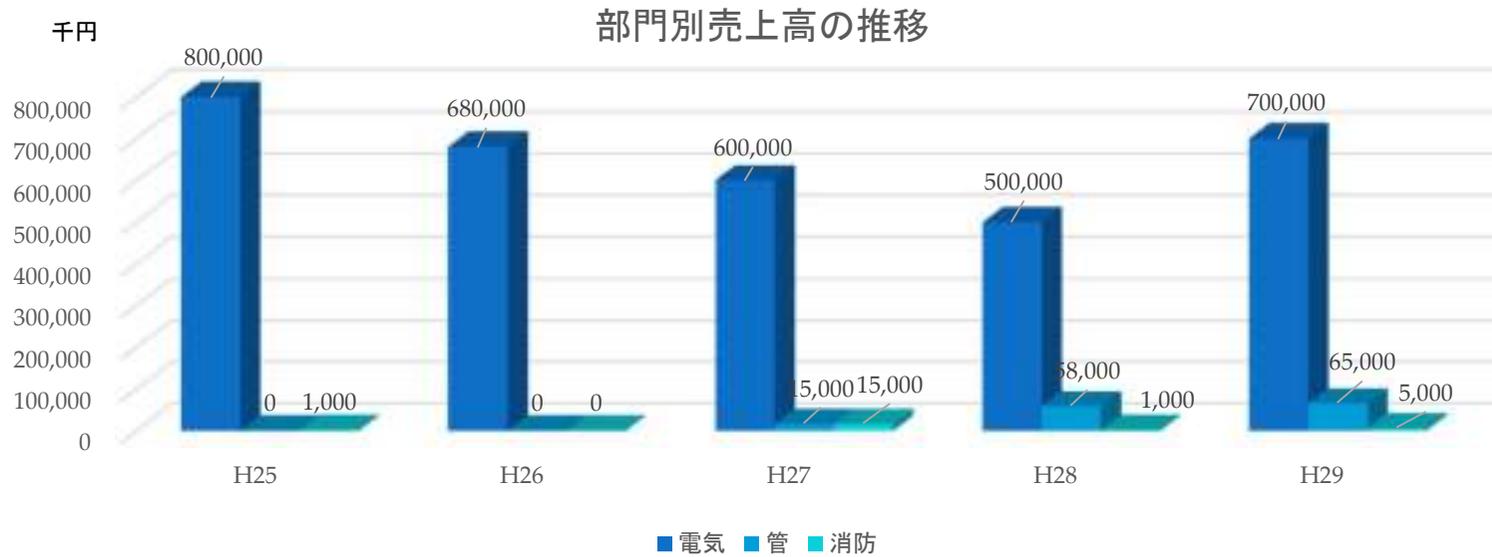
組織・技術  
資産

情報資産

風土資産

理念資産

# 財務実績・主要な財務指標



# 企業概要

- 会社名 高田電機株式会社
- 本社所在地 佐賀県唐津市二夕子3丁目2番51号
- 電話番号 (0955) 74-4311 (代表)
- FAX (0955) 74-8174
- Mail takadael@po.pepole-i.ne.jp
- 設立年月日 昭和29年10月
- 代表者 代表取締役 高田 芳雄
- 資本金 2,000万円
- 取引銀行 佐賀銀行 唐津支店  
唐津信用金庫 朝日町支店  
福岡銀行 唐津支店



● 従業員数 31名（平成29年8月1日現在・連結）

● 許可番号 佐賀県知事 許可(特-26)第1079号  
(電気工事)

佐賀県知事 許可(般-26)第1079号  
(管工事、消防施設工事、建築一式工事、土木一式  
工事、塗装工事、水道施設工事、解体工事)

● 営業事項

電気設備工事	住宅からビル・大型店舗・各種施設	設計施工
機械設備工事(管工事)	住宅からビル・大型店舗・各種施設	設計施工
消防施設設備工事	住宅からビル・大型店舗・各種施設	設計施工



# 支援機関

- 唐津信用金庫
- 唐津商工会議所
- 一般社団法人佐賀県中小企業診断協会